

代表は、昨年末の東アジア選手権で韓国に1-4の大敗するなど不振を極め、監督更迭論が噴出してきている。オシム監督が脳梗塞に倒れた後、「代打」として代表監督に再登板し、2010年の南アW杯で見事決勝トーナメントに駒を進めた岡田氏の「再々登板」の待望論は根強い。「3月の欧州遠征の結果次第ではハリル監督の電撃解任もある。その時は海外からの監督選任は間に合わないだろう。日本人選手の特性をよく知り、短期間でチームを立て直せる岡田氏は最有力候補だ」(同前)

メキシコ五輪の得点王で、日本サッカー協会・元副会長の釜本邦茂氏は「さすがにロシアW杯前ということはないだろうが……」と前

置きしつとも「岡田待望論」を語った。「高い年俸を払って外国人監督を招聘し、ありがたがっている時代はもう終わつた。日本が強豪国を目指すなら、日本人監督を真剣に検討すべきです。その筋道をつけられる適任者は岡田武史しかいないでしょう」まさかの再々登板はありうるか。

……。中国語か日本語かさえわかりません。智和が叫び始めたのは小学校4年生の頃(13年)。福原(愛)選手が、智和が通っていた小学校に来て試合をしてくれたことがあるんですけど、その後に「チヨレイ」と叫ぶようになった

得するたび「チヨレイ!」と叫んでいた(前出・関係者)張本が雄叫びを上げ始めた時期は、馬選手の現役時代と重なる。彼の強さにあやかっただけのことなのだろうか。中国在任経験があるライター・西谷格氏が、その意味を推測する。「『物や能力が出てくる』という意味の中国語に『チユライ(出来)』というものがありません。張本選手は『やった!』という意味でこの言葉を叫んでいるのかもしれない」

# 伊藤美誠も使い始めた! 卓球・張本智和「チヨレイ」のルーツ



金メダルなんて「チヨレイ、もの?」

史上最年少の14歳で全日本選手権を制し、東京五輪では金メダルの期待もかかる卓球の張本智和。その代名詞「チヨレイ」は他のポイントポイントあげた際の「チヨレイ!」の雄叫びだ。

絶好調男にあやかっただけで、「チヨレイ!」は他の選手にも「伝染」。同大会女子で優勝した伊藤美誠(17)もポイントをあげるたびに叫んでいた。卓球日本代表選手は合宿

などで一緒に過ごす時間が長いため仲が良く、「そのうち平野(美宇、17)、早田(ひな、17)あたりにも「チヨレイ」が広まるのは時間の問題」(卓球日本代表関係者)と噂されるほど。

果たして「チヨレイ」のルーツは――実は、張本よりも前に使っていた選手がいる。04年アテネ五輪、08年北京五輪と2大会連続で個人男子卓球金メダルに輝いた中国の英雄・馬琳だ。「00年頃から引退する14年まで馬選手はポイントを獲得

## 復職した善光寺住職の初告白 「私のセクハラ問題と宗派内争いの関係」

年間600万人以上が参拝する長野の名刹・善光寺のトップ、小松玄澄住主(84)が1月22日、約1年半ぶりに本堂に上る「昇堂」を再開した。これで一連の騒動が収束し、再び穏やかな善光寺が戻ってくるかと

思いきや、そうではなかった。これまで口をつぐんでいた小松住主が本誌に告白した内容は、新たな「争い」を示唆するものだった。騒動の発端は16年6月、60代の女性職員に小松住主が差別的な発言をしたとし

# 開幕準備

「差別発言は女性の出自を持ち出したという話でしたが、私は長野県仏教会会長として、人権擁護運動を推進してきた身。差別発言などするはずがありません。そもそも16年8月、長野野地方法務局が『人権侵犯の事実があったと判断できない』として、審判事実不明の決定を下しています。セクハラ発言もありえません。こうした事情を本山

にも説明し、納得してもらっています。だから貫主も続けられているのです」ではなぜ、これまで黙っていたのか。「反論すれば低俗な争いとなり、善光寺にも信徒さんにも迷惑をかけるからです。私を陥れた人たちの正体は分かっています。私を失脚させようとしているグループがいる。その人たちが、私の差別発言やセクハラ発言をでっち上げて『昇堂自粛』に追い込んだのです」

善光寺内の権力闘争の一部として出た「デマ」だったと主張するのである。昇堂は果たしたものの、辞任を求める声が上がって



争いは終わらない(善光寺の本堂と円内は小松貫主)

おり、小松貫主は「まずは私の名誉を回復していきたい」と降りるつもりはない。善光寺は「一生に一度は善光寺参り」といわれるほど、全国に多くのファンを持つ。ドロ沼の内部抗争が長引くことは誰のためにもならない。

●伊藤博敏(ジャーナリスト) ENGA社との協働を発表した。デイサービス店舗「いきいきらいふSPA」においてオナホール

「高年齢者の性と真正面から向き合います」と語る福住氏

## まさかの新規事業! TENGGAが介護現場へ参入した

アダルトグッズ界のバイオニア「TENGGA」が意外な「新規事業」に乗り出した。介護サービス業を全国展開する株式会社「いきいきらいふ」は、1月16日、T

「高年齢者の性と真正面から向き合います」と語る福住氏

